



2017.10 サ・ラタ

THE
LION
TIMES

地区スローガン

「新世紀 知性豊かにウィ・サーブ」

地区ガバナーテーマ

「奉仕への誇り」

ライオンズクラブ国際協会337-D地区ガバナーズレター

【ライオンズの誓い＝ われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する】

■ 第1回キャビネット会議開催 7月21日(金)



地区ガバナーL. 吉村千鶴子の挨拶でスタートした第1回キャビネット会議は、前年度よりの申し送り事項の確認並びに予算案の承認など、多岐にわたる諸事項が協議され終了した。

また、キャビネット会議に先だち開催された長期計画委員会は、初の試みとしてご案内時よりガバナーの意向によりオブザーバーの皆様ご出席のもと議事が進行された。

第2回 予 定	2017年12月4日(月) TV会議 (各リジョン内)	第3回 予 定	2018年2月23日(金) (於：那覇市)	第4回 予 定	2017年4月22日(日) (於：鹿児島市)
------------	--------------------------------	------------	--------------------------	------------	---------------------------

【2016～2017年度 会員動静一覧】

(R別)	(クラブ数)	期首会員数/ 前年度6月末	入 (7月～6月)	退 (7月～6月)	(6月末会員数)	(期首に対する増減)
■鹿児島R	55	1,754	180	217	1,717	-37
■沖 縄R	21	597	91	97	591	-6
(地区合計)	76(C)	2,351(名)	271(名)	314(名)	2,308(名)	-43(名)

【2017～2018年度 会員動静一覧】

(R別)	(クラブ数)	期首会員数/ 前年度6月末	入(7月)	退(7月)	(7月末会員数)	(増 減 数)
■鹿児島R	54	1,717	37	16	1,738	+21
■沖 縄R	20	591	7	6	592	+1
(地区合計)	74(C)	2,308(名)	44(名)	22(名)	2,330(名)	+22(名)

■ 地区ガバナー公式訪問がスタート

7月26日、沖縄R. 1Z (5C) による公式訪問が名護市（オキナワマリ奥特リゾート&スパ）においてスタートした。滝廉太郎の「花」をBGMに、吉村ガバナーは参加者全員に大きな拍手で迎えられた。「会員の皆さんに話したい(伝えたい)ことは、今（公式訪問）この時だからこそ・・・。」との熱い思いで各ゾーン趣向を凝らした激励の中、ガバナー方針等が伝えられるなど全ての公式訪問が盛会裏に終了した。

7月27日	沖 縄R. 2Z (7C/於:宜野湾市)	8月22日	鹿児島R. 6Z (4C/於:伊佐市)
7月28日	沖 縄R. 3Z (8C/於:糸満市)	8月23日	鹿児島R. 4Z (9C/於:南さつま市)
7月31日	鹿児島R. 10Z (6C/於:奄美市)	8月24日	鹿児島R. 5Z (8C/於:薩摩郡さつま町)
8月 8日	鹿児島R. 8Z (3C/於:曾於市)	8月25日	鹿児島R. 1Z (5C/於:鹿児島市)
8月 9日	鹿児島R. 9Z (4C/於:鹿屋市)	8月25日	鹿児島R. 2Z (5C/於:鹿児島市)
8月17日	鹿児島R. 7Z (5C/於:姶良市)	8月25日	鹿児島R. 3Z (5C/於:鹿児島市)



(ライオンズクラブは、地域社会への身近な奉仕活動と国際的奉仕活動を行っています。)

【 ■ 鹿児島R. 1 Z/鹿児島LC 】 平田公園の清掃活動(会員:11名参加)



平田公園の清掃活動を行いました。
(8月27日)

【 ■ 鹿児島R. 1 Z/鹿児島中央LC 】 小児糖尿病サマーキャンプ(会員:12名参加)



霧島自然ふれあいセンターにて、活動の様子を見守り、レクリエーションを一緒に行いました。
(8月27日)

【 ■ 鹿児島R. 2 Z/鹿児島南LC 】 スポーツ少年ソフトボール大会並びに献血運動(会員:18名参加)



24回目となります鹿児島南LC旗争奪スポーツ少年ソフトボール大会を開催
39チームの参加がありました。
また、同時に指導者、保護者の皆様に献血のご協力を頂きました。
(7月17日)

【 ■ 鹿児島R. 3 Z/鹿児島谷山LC 】 熊本県阿蘇郡西原村教育委員会へ



7月3日(月)熊本県西原村教育委員会へテント、一輪車等寄贈。(村内の保育園、小学校、中学校へ)昨年度の熊本大地震の支援として姉妹クラブである鶴岡朝陽LCからの義援金と当クラブからも支出し55周年記念事業として実施致しました。
(7月3日)

愛の聖母園との交流会(会員:20名参加)



8月18日(金)愛の聖母園の子供たちと夏祭り交流会を行いました。焼きそば、たこ焼き、かき氷、フランクフルト、ぼんぼん等を準備致しました。また子供たちからは三味線披露などがありました。天候にも恵まれ花火も実施致しました。今後も続けていけたらと思っています。
(8月18日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z/川内なでしこLC 】

コーセイ商品仕分作業(会員:8名参加)



毎年2回お中元・お歳暮の時期に合わせて コーセイ商品(お素麺等)を仕入れ、会員・会員外の方に販売しています。その益金を災害支援金等の為に全額寄付しています。
(7月5日)

川内川花火大会清掃ボランティア(会員:7名参加)



毎年8月16日に行われる「川内川花火大会」の後の清掃を翌朝にします。今年も早朝6時～1時間かけてゴミ・空き缶拾いをしました。
(8月17日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z/川内第一LC 】 地区夏祭り大会の設営と撤去(会員:21名参加)



水引小学校で行われる地区夏祭り大会の舞台の設営と撤去を行いました。
(8月13日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z /川内よさこいLC 】 児童養護施設「慈恵学園夏祭り」参加(会員:3名参加)



毎年恒例の児童養護施設「慈恵学園夏祭り」に参加した。クラブより施設の子供達に飲み物をプレゼントした。慈恵学園レオクラブの子供たちは受付、司会など夏祭りの運営に積極的な参加しリーダーシップを発揮していた。施設の子供たちや地域の方々と交流し楽しいひと時を過ごした。これからも継続事業として活動していきたい。
(8月26日)

使用済み切手収集(会員:21名参加)



古切手収集の目的等に賛同していただいた地域の方からたくさんの古切手を収集した。会員一人ひとりの言葉かけにより今月は15000枚となった。インドの恵まれない子供たちの愛の懸け橋となるよう、これからも継続事業として活動していく。
(8月31日)

【 ■ 鹿児島R. 7 Z /始良LC 】 錦江湾クリーンアップ作戦の実施(会員:8名参加)



安全に楽しく過ごせる海や海岸であるように夏の錦江湾クリーンアップ作戦が始良市の主催でありました。始良ライオンズクラブは脇本海岸を主体に8名が参加して海岸の清掃に汗を流しました。
(7月1日)

【 ■ 鹿児島R. 8 Z /志布志LC 】 いのちの法話(会員:15名参加)



年に1回、専念寺 伊勢堀院にて「いのちの法話」を開催しています。今年は、法務員の方から、「周利槃持(シュリハドク)」というお釈迦様の弟子のお話を聞かせていただきました。子供達も興味津々で話に聞き入っていました。
(8月3日)

沖縄R. アクティビティ (活動) 報告

7月～8月分

【 ■ 沖縄R. 1 Z /石川LC 】 中学校にて薬物乱用防止教室を開催(会員:6名参加)



金武中学校の生徒300名を対象とした薬物乱用防止教室を開催しました。
(7月3日)

児童館への食糧支援(会員:4名参加)



うるま市児童館へ食糧支援を実施しました。
株湧川商会：ポーク缶詰
20ケース/480缶
(有)神村酒造：もろみ酢うめかおるドリンク
12本
(7月12日)

【 ■ 沖縄R. 3 Z /首里キャッスルLC 】 7月首里城周辺清掃(会員:4名参加)



午前7:00～8:00に、首里城周辺の清掃活動をしました
(7月16日)



鹿児島R. 夏期派遣学生帰国レポート



派遣国 シンガポール・マレーシア

『交換留学で学んだこと』

YCE派遣学生 岐部 優理菜

(スポンサーC/鹿児島第一LC)



私は、シンガポールとマレーシアに行きました。一軒目は、テノムでした。そこでは、食べたこともないようなものにも挑戦し辛い時もありました。しかしそのおかげで、食べれるようになり感謝をしています。そして、学校に行きました。全校朝会では中国語、授業中は英語と日本語使い分けていました。日本と違い授業中もとても自由で国の違いを感じることができました。仏教の寺に三つ行きましたが、寺ごとによって飾ってあるものも違い仏教の寺だから全部同じという考えが覆されました。

二軒目は、チョコレート工場や大学の水族館、ショッピングに行きました。チョコレート工場では、作り方を教えてもらい、テイスティングもしました。水族館では、人間が捨てたごみのせいで亀や鳥などが死んでいることがわかりました。とても考えさせられる水族館でした。ショッピングでは、5, 6カ国のお金で買い物ができることを知り驚きでした。

三軒目は、シブでした。一家族に一人だったので最初はとても不安でした。ホストママさんと二人でショッピングや屋台に行きとても楽しい時間を過ごすことができました。しかし、屋台に豚の鼻が売られているのを見てしまい叫んでしまいました。みんなで一緒に回ったときは、中華系の資料館や長屋、市場や工場に行きました。資料館では、昔使っていたものや手紙などが展示されていました。長屋では、伝統的なダンスなどをしました。市場では、ニワトリが新聞紙に生きたまま包まれているのが売られていて、それを見て泣いてしまったことは、忘れられません。工場では、普段見ることでできないような作り方の過程を見ることができ貴重なひと時でした。



四軒目は、クチンでした。前に第一ライオンズクラブで受け入れた子の家でした。この子とは、鹿児島の話をして盛り上がり、こういう形で触れ合えるのもライオンズの良いところだと実感しました。そしてここでは、老人ホームでの手伝いや障がい者の方とアートを助け合いながらしました。フードフェスティバルでは、色々な国の料理に挑戦したり、見たりできて良かったです。

五軒目のシンガポールでは、初日に、建国記念日の祭りがあり参加することができました。シンガポール色である赤と白の服で参加したのでみんなと一体になれた気がして嬉しかったです。いろいろな観光地にも連れてってもらい貴重な一週間でした。キャンプやパーティーでは、同い年くらいのLEOクラブの人たちと仲良くなれました。こういう機会を与えてくださったおかげで、国境を越えた絆を作ることができました。ふくを洗濯するのに戸惑ったり、最初は意思疎通ができず困ることだらけでしたが、一週間もしないうちに現地の方やホストファミリーと仲良くすることができてよかったです。苦手な英語も好きになることができました。これからは、OBとして奉仕作業やキャンプでの手伝いに積極的に参加していきたいと今回のことをとおして思いました。日本の学生は、マレーシアの学生に比べて進んで活動していません。なので、小さいことから少しずつ取り組んでいきたいと思いました。



(原文記載)



派遣国 台湾

『特別な経験と忘れられない思い出』

YCE派遣学生 小坂元 咲璃

(スポンサーC/鹿児島さつまLC)

私はYCE派遣学生として、8月3日から8月23日の約3週間、台湾に行かせていただきました。私は海外に行くことが初めてであり、派遣学生の中でも九州からは一人だったのもものすごく不安でいっぱいでしたが、「根性☆挑戦☆笑顔」を胸に充実した日々を過ごすことができました。

私は二軒のホストファミリーにお世話になりました。どちらの家族も桃園に住んでいました。一件目のホストファミリーと初めて会話するとき、私はものすごく緊張しましたが、ホストマザーが「大丈夫。大丈夫よ。安心してください。」と優しく背中を撫でてくれたおかげで、私はしっかりと挨拶することが出来ました。凄く立派な家で、シャワーとトイレ付きの一人部屋でした。何一つ不自由はなく、とても快適な環境で過ごせたことにとても感謝しています。また、仕事で忙しい中、土日には桃園から一時間ほど離れたところにある首都の台北に連れて行ってくださいました。台北では、ホストファミリーの息子と一緒に有名なレストランで小籠包を食べました。もちもちの皮で感動するぐらいの肉汁がでてきて、ものすごくおいしかったです。また、台北101というタワーから、東西南北それぞれ違った台湾の町の景色を見ることが出来ました。



平日には、お父さんがライオンズの一員だという大学生のしょうさん(japanese name)と彼女のお母さんが九份や宜蘭市に連れて行ってくださいました。九份では台湾で伝統的なお茶の入れ方を学び体験しました。高山茶と呼ばれるもので、香りがとてもよくリラックスすることが出来ました。宜蘭では、台湾の伝統的な生活(衣・食・住)や文化を学べる場所にいました。しょうさんは知識がとても豊富で、英語もとても上手でたくさんのことを私に説明してくださいました。目で見て、英語で説明を聞き、英語で質問をして、体験する。普段なかなかできないことを経験することが出来ました。今の自分の英語能力はまだまだで、たくさん迷惑をかけましたが、分かるまであきらめずに聞くことで理解できた時のうれしさを感じる事が出来ました。一週間はあっという間に過ぎました。台湾での生活に対する不安はもうこの時にはなくなっていました。

二件目のホストファミリーは五大家族でした。また、私がホームステイする間は二人のいとも泊りに来ていたので、毎日がとても賑やかでした。ホストシスターは私より一つ年上でとても落ち着いていました。彼女と同じ部屋だったのですが、初めなかなか自分から話しかけることができませんでした。しかし、きずいたことは口に出してみようと思い、彼女と過ごしているうちに、彼女の好きなこと苦手なもの、日本での体験や思い出話。そして、彼女の高校の卒業アルバムを見ながら、勉強のこと、クラスメイトのことなどたくさんを知ることが出来ました。私が2ndホストファミリーとの思い出の中で一番楽しかったことは、4人乗りの自転車に乗り、二時間ほどサイクリングをしたことです。自転車を漕いでいるうちにホストシスターだけでなく、二人のホストブラザーと二人のいともコミュニケーションをとり、仲良くなることが出来ました。彼らは、とても親しみやすく元気いっぱい、知っている英語で一生懸命私に話しかけてくれました。ものすごく可愛くて、漕ぐのに疲れていても癒されました。私も負けじと自分から声をかけました。英語で会話しているのに、日本で友達と遊んでいるかのようにサイクリングを楽しめたこと。たくさん汗をかいてたくさん笑えたことがとてもうれしくて最高の思い出です。



8月19日から8月23日の最終日までの5日間は、台湾へのYCE派遣生とそのホストファミリーの日本への来日生が合同のキャンプがありました。バスで台湾を一周するというものでした。私はこのキャンプを通じてたくさんの友達とつながることが出来ました。台湾の歴史を学び、日月湖という大きくて美しい湖へ行き船に乗ったり、孔子廟へ行き学問の神様にお祈りしたりと他にもたくさんの観光地に行きました。写真もたくさん撮りました。最後のサヨナラパーティーでは活動グループごとに歌やダンスの出し物を決めて発表しました。本当に楽しかったです。

最後に空港での思い出です。しょうさんの家族も2ndファミリーも空港へお見送りに来てくださっていました。自分が想像していたよりも別れることが寂しくて悲しくて涙が自然とあふれでてきて止まらなかったです。私はこの三週間台湾でたくさんの人と出会い、食べ物と出会い、優しさと笑顔に出会いました。たくさんの挑戦が経験へ。それらの経験が人生で大切な思い出へと変わりました。この出会いをこれからもずっと大切にしていきたいです。そして、いつか再び台湾を訪れてみんなに会いたいです。このような貴重なたいいけんができたのはライオンズクラブの方々、助け合い協会の方々、ホストファミリーの皆様、台湾のライオンズクラブの方々の支援があったからです。感謝してもまだまだ足りないぐらい感謝しています。また、お父さん、お母さん本当にありがとうございます。(原文記載)





派遣国 マレーシア

『初めての国際交流』

YCE派遣学生 中島 涼香

(スポンサーC/指宿LC)

今回私は指宿ライオンズクラブよりYCE派遣生として、7月18日から8月17日までの約1か月間マレーシアにホームステイさせていただきました。海外へのホームステイは、初めてで言葉も宗教も異なる方々と仲良くできるか不安がいっぱいありました。しかし、福岡でYCE派遣生たちと会い少し気持ちが落ち着きました。

今回私は、2軒の家庭にホームステイさせていただきました。まず、1軒目はクアラルンプールに住むインド系の夫婦で子供2人と親族合わせて8人の大家族で、温かく迎えていただきました。笑顔が優しくてとっても安心しました。私は英語が余り上手に話せないのでコミュニケーションが難しく、マレーシアは、英語、マレー語、中国語と色々あり、私はジェスチャーや筆談を使い自分の思いを少しずつ相手に伝えました。日本を離れ私はすぐにホームシックにかかってしまい日本が恋しくなり食事が余り摂れませんでした。しかし派遣生として頑張らないといけないと思い、なるべくホストファミリーと会話をしよう心がけ小さな子供もいたので絵本を読んであげたりしてコミュニケーションをとりました。ホストファミリーが休みの時は、色々な所に連れて行ってもらいました。水族館、ショッピングモール、観光地等を案内してもらいとても楽しく過ごせました。日本とは違い自然がいっぱいで物価が安いことに驚きました。仕事が忙しい時には、一人で過ごす時間が多かったのも、その時間帯をもっと有意義に過ごせたらもっと良かったと思います。一番驚いたことが食事の時間帯です。朝食は10時、昼食が3時、夕食は午後7時、夜食が11時ぐらいにあり慣れるまで大変でした。5食や6食を食べる習慣があるので、食べ物屋さんがとても多くマレーシア料理は、もちろん中国料理、インド料理等とありました。ホストファミリーが「なんでも食べるように挑戦してほしい」と言われましたが、味付けが甘いのか辛いのかの両極端でかなり苦戦しました。挑戦する姿勢はとても喜んでくれました。



2軒目は、ラブに住む中国系の家族でした。大分のYCE派遣生の長本みくさんと一緒だったのでとても心強かったです。ホストファミリーもとても優しくかったです。昼間は、1週間中国系の学校に行き一緒に授業を受けマレーシア語や中国語を少し覚えることができました。授業内容もマレー語、中国語、英語と色々ありとても勉強になりました。日本と違い休憩時間が余りなく授業中は皆さん自由に動き楽しそうに過ごしているのにびっくりしました。中国の方々は皆さんとても優しくすぐに仲良くなり楽しい時間を過ごすことができ話をすることでその国を身近に感じお互いを理解しあおうと言う気持ちが強まり国は違っても友情を育む事ができてよかったです。先々で出会う人たちもまたフレンドリーでした。果物やお菓子を試食させてくれてとても親切でした。またマレーシアは、暑いと思われがちですがホストファミリーが連れて行ってくれたところは標高が高い場所で半袖ではとても寒く1枚ぐらいは長袖を持っていくべきだと思いました。

2泊3日のキャンプではイタリア、スイス、デンマークなどの人が集まりグループで活動しました。日本の文化を伝える為日本から持ってきた浴衣や甚平を日本人全員で着て披露しました。あまり着る機会もないので恥ずかしかったです。着付けに苦労したので出発前にもう少し練習しておけばよかったと反省しました。出し物は日本で流行した恋ダンスを踊りました。みんなで一生懸命練習し楽しく踊ることができ海外の方もとても喜んでくれました。今回のキャンプでは、人とのつながりや温かさを学びました。自分の存在感や自分らしく生きることの大切さを学び自分に何ができるかを考え改めて日本をもっと知ることは、大事だと思いました。

今回マレーシアでのホームステイに参加し本当に良かったです。語学、文化、コミュニケーションの大切さと日本の素晴らしさに気づかされ色々学ぶことが出来ました。英語がスムーズに話せたらもっと楽しかったと思います。もっと語学を勉強しこれからもホストファミリーとマレーシアの学校の友達と連絡を取り合っていきたいです。私自身これからも異文化交流やボランティア活動に関わっていきたいです。行く先々でライオンズクラブの方々にとても丁寧に頂きライオンズクラブは国際クラブであることを改めて認識しました。

最後になりましたがこのような貴重な体験をさせて頂き、ライオンズクラブの関係者の皆様に感謝致します。本当に有難うございました。

(原文記載)





沖縄R. 夏期派遣学生帰国レポート



派遣国 マレーシア

『マレーシアのホストファミリーに感謝』

YCE派遣学生 湧上 朝陽

(スポンサーC／沖縄LC)

私は、今回夏休みにYCE派遣学生としてマレーシアに1か月間滞在させてもらいました。最初日本からマレーシアへ行く時、緊張と1か月間という長い期間他国で「自分は楽しく過ごせるのか、ホームステイ先の人とどのように話せばいいのか？」などの不安があり、とても心配でした。ですが、マレーシアに着いて、空港到着口へ行くとホームステイ先の家族や現地のライオンズの人たちが温かく迎えてくれ、それまであった緊張と不安が全てなくなりました。まだ来て一時間もたっていないうちに来て良かったと思いました。

マレーシアでは2カ所の家にホームステイさせてもらいました。

まず1カ所目のホームステイ先は、クアラルンプールというマレーシアの首都に当たるところにありました。そこでの暮らしは、朝から夕方までホストマザーと一緒に買い物へ行ったり、有名な建物のある場所へ連れて行ってもらいました。クアラルンプールに来てすごいと思った事は、世界第2位のペトロナスツインタワーです。最上階までは昇りませんでしたが、とても高いタワーでタ



ワーの周りは高層ビルなどがたくさんあり驚きました。観光客もたくさんいました。夕食は、ほとんどが外食でマレーシアの有名な食べ物をたくさん食べさせていただきました。その中で果物の王様ドリアンを食べましたが、味は甘く独特の風味があり、とにかくおいが臭くて1口食べたところでギブアップしました。他国の食事を現地で食べることができ、貴重な経験が出来たと思います。

2カ所目のホームステイ先は、コタバルというところでした。クアラルンプールからコタバルまでは飛行機で1時間かけて行きました。コタバルの人々もクアラルンプールの人々と同様明るく迎えてくれ、とても嬉しかったです。コタバルのホストファミリーは、中国人のホストマザーとマレーシア人のホストファザーでした。コタバルでは、私と女子4人というグループでほぼ毎日行動していました。最初、男子は自分1人で不安でしたがパーティーなどの時に話していくうちに毎日楽しく行動することが出来ました。ホストファミリーは、とてもやさしくいろいろなことを体験させていただきました。現地の学校へ行き、全校生徒の前でスピーチをしたり、授業を受けたりしました。そこでは学生と交流を深めることが出来ました。



何よりホストファミリーは、自分と同様にテニスに興味だったので一緒にテニスをするのができ、とてもいい思い出ができました。コタバルでの生活も充実した生活を送ることが出来ました。

この1か月間マレーシアで多くのことを学ぶことができたと思います。日本とは異なった文化、宗教、食文化、そして人々が親切で明るいそういったところにも感じるもの学ぶものがありました。



この経験からマレーシアや日本の良さを、広い視野を持って見る事が出来ました。今後の私生活に活かせたらいいと思います。これからも英語力をもっと付けマレーシアに行き、お世話になったホストファミリーに会いに行きたいと思います。

こんな貴重な体験をさせてくださったライオンズクラブの皆さま、マレーシアでお世話になったホストファミリーや周りの人たちにとても感謝しております。

本当にありがとうございました。

(原文記載)

ライオンズクエストが目指すもの

ライオンズクエストのライフスキル教育プログラムは青少年の健やかな成長と薬物乱用防止への願いからスタートし、総合的な内容に発展したプログラムです。家庭・学校・地域が連携し、安全で安心できる環境のもと、青少年が社会の一員として必要な“ライフスキル”を系統的に身につけることを目指しています。先生にとっては教えやすく、子供たちには楽しく学べることから、世界各国の学校で採用され、実施されています。



ライオンズクエスト WS 2017年8月1日～2日
宮古島市平良中学校(校内型WS／宮古LC主催)



北山敏和講師にお越しいただき中学校の先生方19名が受講されました。
研究テーマ「～コミュニケーションス



ライオンズクエスト WS(校内型WS／浦添LC・浦添てだこLC・浦添ウェストLC主催)
2017年8月 8日～ 9日 浦添市小中学校
2017年8月14日～15日 伊平屋小中学校



篠田康人講師にお越しいただき、浦添市では27名、伊平屋では18名の小中学校の先生方が受講されました。
また、8/10には浦添市フォローアップワークショップまで



ライオンズクエスト WS 2017年8月23日
志布志市立志布志中学校(校内型WS／志布志LC主催)



篠田康人講師にお越しいただき中学校の先生方18名がフォローアップワークショップを受



ライオンズクエスト WS 2017年8月28日～29日
鹿児島市立吉田南中学校(校内型WS／鹿児島リバティLC主催)



篠田康人講師にお越しいただき小中学校の先生方19名が受講され